

令和2年度第1回経営委員会 会議の記録

- 1 日時：令和3年2月1日（月）～2月10日（水）
- 2 場所：書面会議
- 3 出席者：
 - 青木管理者
（内部委員7人）
 - 齊藤委員長，石井委員，一宮委員，笹村委員，柿木委員，木村委員，古川委員
（外部委員4人）
 - 小関委員，高橋委員，三井委員，山下委員
（事務局3人）
 - 高橋事務局次長，山内財務係長，高橋財務係主査
- 4 資料：令和2年度 市立旭川病院経営委員会（書面会議）について
 - 資料1 委員名簿
 - 資料2-1 令和2年度の決算見込みとR3年度予算案について
 - 資料2-2 （参考）市立旭川病院主要業績推移
 - 資料3 市立旭川病院第3次中期経営計画見直し案
 - 資料4 配付資料の説明
 - 資料5 事務連絡
 - 資料6 意見提出シート

5 会議内容（主な提出意見）

A 委員

資料2では患者数の対前年比を示しているが，入院させるかどうか，手術するかどうかはドクター次第だと思う。コロナ禍の現在は難しいかもしれないが平時においては院長が各ドクターに患者数を増やすよう指示するなど，経営層が各医師をコントロールすべきだと思う。

事務局回答

現在はコロナ患者等の受入れに必要なマンパワーを確保するため，院長から各医師に入院制限を指示している状況にあり，そういった意味では経営層は医師や各診療部門を掌握し，必要に応じて指示を出すなど，病院運営の舵取りをしています。

また，コロナ禍となる以前は患者数や病床稼働率を確保するため，平均在院日数の調整や紹介率の向上に向けた他の医療機関との連携強化といった取組を進めるなど，必要に応じて取り組んできたところです。

A 委員

貸借対照表や損益計算書といったもう少し細かい資料を示したほうが経営状況や課題が見えやすい。次回から対応してほしい。

事務局回答

次回から対応します。

A 委員

資料2において、腎臓内科医師や産婦人科医師の増による増収が示されているが、本来は変動費や人件費等を除いた利益ベースで示すことも必要ではないか。

事務局回答

当院では診療科別の原価計算を行っていますので、今後そうしたデータも活用しながら委員の皆様によりわかりやすいデータをお示ししてまいります。

A 委員

重点テーマやその効果額を具体的に設定し、経営改善に向けて取り組んでいくことが必要だと思う。

事務局回答

当院ではこれまでも経営改善に向けて、予算策定時に個別具体的な取組目標とその効果額を設定し取り組んできたところです。

例えば、精神科領域の新たな加算の取得に向けて認定看護師の育成に取り組んだ結果、平成30年度に実を結び、年間1億円以上の増収を果たしています。

また病院の増改築のために平成4年から平成13年に借り入れた96億円の企業債の返済平準化に向け低利率の民間資金に借り換えた結果、返済負担額を年間1億5000万円程度圧縮しました。

さらに管理事務費の削減に向け、令和元年度に電気供給契約を新電力も含めた入札にしたことにより、年間1000万円程度の電気料の削減を実現しました。

今後は委員御提案のような、重点テーマの設定も参考とさせていただきながら、経営改善に向けてあらゆることに取り組んでまいりたいと考えております。

6 結 論

事務局から提示した資料3「市立旭川病院第3次中期経営計画見直し案」について反対意見がなかったため了承を得たものとし、同計画を決定する。